

令和元年度

優れた教育活動表彰

1 学校 (12校)

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
安来市立第三中学校 安来市立飯梨小学校 安来市立荒島小学校 安来市立赤江小学校	原 智 持 田 健 司 八 澤 慎一郎 客 野 智	<p>平成29年度から「みんなのまちづくりプロジェクト事業」の指定を受け、「学習意欲の向上」及び「社会貢献意欲の育成」を研究の柱として校区内で「中学校卒業時のめざす生徒像」を共有するなど、4校協働での教育実践を進めている。</p> <p>小中の連携を推進し、相互に授業公開を実施するとともに、「防災教育」や「梨栽培」、「米作り」、「川の生き物調べ」、「伝統芸能調べ」などをテーマとして「総合的な学習の時間」における探究型授業の推進に取り組んでおり、校区内の児童生徒の主体性や学習意欲の向上に繋がるなど、大きな成果となっている。</p>
安来市立十神小学校	春 日 宏	<p>平成26年度から5年間、「島根県学校図書館活用教育研究事業」の実践校として、年間計画・スキル体系表に沿って担任・司書教諭・学校司書が協働する系統的な授業実践や教科横断的な単元構築を進めるとともに、低学年における初歩的な読書指導や各学年に応じた必読書の設定などに取り組んだ結果、読書の質・量ともに向上している。</p> <p>図書館には自学コーナーを設置し、思考ツールや各種ワークシートを常設して児童の主体的な学びをサポートするなど学習センターとしての機能も整えており、県学力調査の意識調査においても探究型の学習活動に対する児童の意識は非常に高く、これらの実践は、公開授業等を通して各小中学校の先進事例となるなど、大きな成果を上げている。</p>
雲南市立西小学校	野 津 勇	<p>平成29年春に校区内にコウノトリが営巣したことを機に、校内に「げんきくんとひなたち応援プロジェクト」を立ち上げ、一人一枝運動、全校学習、観察記録の作成など、コウノトリを核とした環境学習、まちづくり学習に取り組んでいる。</p> <p>生き物への愛着や自然のすばらしさへの気づき、人と生物の共存、ふるさとへの愛着と誇りなど、様々な視点で児童の実態に応じた課題化を図りながら実践を進めており、児童のふるさとや地域に関する意識が高まるとともに、探求心や追求心の高まりも見られるなど、大きな成果となっている。</p>

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
浜田市立周布小学校	中 川 伸 二	<p>平成28年度から3年間、県から「算数授業改善推進校事業」の指定を受け、「子どもの声でつくる算数授業づくり」のテーマのもと、「児童が考えたくなる学習課題の設定」や「話し合いを焦点化し、深めるための支援のあり方」について研究を進め、平成30年度には全ての学年で授業公開を行い、取組状況を管内に発信している。</p> <p>島根県学力調査の児童意識調査では「算数の授業が好き」と答える児童が増加するとともに、算数科の平均正答率も上昇しているほか、他の教科における授業改善に関する教員の意識向上が見られるなど、大きな成果となっている。</p>
江津市立津宮小学校	平 田 裕	<p>平成28年度から3年間、県から「算数授業改善推進校事業」の指定を受け、「子どもの声でつくる算数授業づくり」のテーマのもと、「主体的に学ぶ子どもの育成～子どもの声でつくる算数授業をめざして～」を研究主題に研究を進め、児童が楽しく考え、表現する算数の時間を目指し授業実践を積み重ねている。</p> <p>この実践により算数が好きな児童の増加に繋がるとともに、算数の学力向上も見られたほか、各教員の授業観が形成されたことで、子どもの声でつくる授業スタイルが浸透し、他教科への波及効果がみられるなど、算数科授業を切り口とした授業改善を進める上で大いに参考となる取組となっている。</p>
邑南町立日貫小学校	三 島 伸 仁	<p>平成28年度から3年間、文部科学省から「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」の指定を受け、小規模校のメリットを活かしながらデメリットを最小化させる教育を研究した。</p> <p>地域住民や企業など、地域の資源を活かしながら地域を活性化する方法を考え、「日貫っ子会議」や「えっさほいさひぬきささ（喫茶）」、外国語活動への地域住民の参加等、学校の教育課程のなかに地域住民が参加する活動を実施し、地域と共に歩む魅力ある学校づくりに力を入れたほか、近隣の保育園や学校との合同学習を進めるなど、今後のふるさと教育の実践として大いに参考となる取組となっている。</p>

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
島根県立出雲農林高等学校	三 島 一 友	<p>平成15年度から太鼓部を立ち上げ、地域の祭りや保育園、高齢者施設などでの演奏活動を積極的に行い、地域の方からその演奏に感動したなどの声が数多く寄せられている。</p> <p>また、全国高等学校総合文化祭への連続出場や農業祭での演奏などを通して校内に活気と活力を与えている。</p> <p>太鼓部の活動が地域と学校の繋がりに大きく寄与しているほか、地域貢献や生徒の郷土愛の育成にも繋がり、また、伝統芸能の継承と発展にも大いに貢献している。</p>
島根県立松江養護学校 安来分教室	道 下 利 治	<p>地域のなかで自分らしく生活し働くことを目的とした作業学習に重点をおき、製菓・パンの営業許可を取得した実習棟を設置し、地域の「ひと・もの・こと」を活かした製造から販売までの一連の学習に取り組んでいる。</p> <p>地域の方から材料の提供や職業指導の支援を受け地域での販売会を行うなど、地域密着型の教育活動を実践しており、平成27年度からは地域の企業の協力のもと、デュアルシステムによる現場実習にも取り組み、学校と地域の連携を年々深めてきた。</p> <p>安来高等学校との交流や共同学習にも継続して積極的に取り組んでおり、これらの教育実践は、「地域に必要とされる学校」、「地域に貢献できる学校」として大いに参考となる取組となっている。</p>
島根県立江津清和養護学校	藤 田 雅 司	<p>平成27年度から東日本大震災復興支援活動「福島ひまわり里親プロジェクト」に継続参加している。</p> <p>平成29年度には近隣の小学校と合同で取り組み、出前授業を主催したほか、同校を会場としたセレモニーやひまわりの種の収穫祭を実施した。</p> <p>平成30年度には市内小中学校の参加を得て、「江津市福島ひまわりプロジェクト」を実施したほか、小さな巨匠展（市内特別支援教育作品展）では各学校が協働してこの活動に関する展示を行い、市民への啓発を進めている。</p> <p>こうした活動は、復興支援を地域全体で行うとともに、地域における特別支援教育への理解を深めるものとして大いに参考となる取組となっている。</p>

(注) 上記の掲載順は、小中学校・高校・特別支援学校、かつ建制順による。

2 個人（7名）

氏名	所属名・職名	表彰の理由
いし くら てる なり 石 倉 輝 也	島根県立情報科学高等学校 教諭	<p>県が行う教科リーダー養成・活用事業で商業科の将来のリーダーとしての推薦を受け、商業科のエキスパート教員として1年間の研修成果を県内の教員へ広めるなど、商業教育における中心的な役割を果たしている。</p> <p>平成30年度には、全国商業教育指導者研修会に県代表として参加し、以後、取り組んだ課題研究の実践報告「地域と連携したコンソーシアム構築」が全国1位として表彰された。</p> <p>現任校では、商業科主任として、校内での学びのみならず地域と連携した取組を計画・実施し、生徒にとって社会を意識した学びの実現に寄与するなど、本県の商業教育の活性化に大いに貢献している。</p>
いし ぼし ま すみ 石 橋 真 澄	大田市立川合小学校 栄養教諭	<p>長年にわたり心身ともに健全な児童生徒の育成に向け、学校給食の充実と食育の推進に取り組んできた。給食管理においては、地域色豊かな献立作りに取り組み、第7回地産地消給食等メニューコンテストで農林水産省食糧産業局長賞を受賞するなど、地産地消の推進に貢献した。</p> <p>また、食育に関する授業を多岐にわたり提案したほか、実践事例集「すこやかしまねっこ」の編集委員や大田市食育ボランティア養成講座の講師を務めるなど、地域の食育の推進にも貢献している。</p> <p>島根県学校栄養士会においては、事務局長、副会長、県代表を歴任したほか、島根県小中学校栄養教諭研究会においては副会長を務めるなど、若手学校栄養士の育成にも大きく貢献している。</p>
おか だ ゆ み 岡 田 由 美	出雲市立塩冶小学校 事務リーダー	<p>平成26年度以降、島根県公立小中学校事務職員研究会（以下、島事研という。）の研究部長として研究活動の推進に尽力してきた。</p> <p>その間、「島事研ビジョン2015」を具現化するための「第五次研究中期計画」の提案と実践を通じて、県内学校事務職員の研究活動の牽引役を担ってきたほか、今年度の全国公立小中学校事務職員研究大会での分科会発表についても中心メンバーとして関わっている。</p> <p>地域の研究活動においても先導的役割を果たしており、長年による活動は、学校事務の改善と職員の資質向上に大きく貢献している。</p>

氏 名	所属名・職名	表 彰 の 理 由
くら 倉 橋 はし 宣	飯南町立赤名小学校 教諭	<p>長年にわたり中山間地域において、児童生徒の体力及び競技力の向上に積極的に取り組んでいる。</p> <p>平成30年度には島根県教育研究大会会場校としての体育科の授業公開や中・四国小学校体育研究大会での提案発表において指導的役割を果たし、研究の推進に大いに寄与した。</p> <p>また、地域においては、駅伝競技及びスキー競技の次世代の担い手づくりに尽力してきた。</p> <p>特に、しおかぜ駅伝大会では、17年間、地元チームのコーチを務め、平成29年度以降は監督に就任し、夜間練習の指導のほか選手の精神面のサポートも担うなど、学校における教育活動に留まらず、地域の社会体育教育の振興にも大きく貢献している。</p>
その 園 やま 山 裕 之 ひろ 之	島根県教育センター 指導主事	<p>大田市立北三瓶中学校在籍中に道徳教育の共同研究の中心的役割を果たし、「第19回上廣道徳教育賞」の最優秀賞受賞に大きく貢献した。</p> <p>また、自作資料「金色の稲穂」が中学校道徳の教科書に教材として採用され、さらに教科書の指導書の執筆も務めており、これまでの実績から今年度は島根県教育センターの道徳の共同研究において研究チーフを務めている。</p> <p>理科学習に関する研究では、各種研究集録や書籍、学会において研究成果が報告され、平成29年には島根大学の免許状更新講習において放射線観察・計測講座の講師を務めるなど、内外からその実績が大いに評価されている。</p>
ふく 福 間 浩 文 ひろ 文	島根県立出雲農林高等学校 教諭	<p>動物科学科の学科長として、社会動物コース及び産業動物コース双方の教育活動の推進に尽力しており、高い専門的知識と技術をもって授業や実習の指導にあたっている。</p> <p>地域の公共施設やこども園等へ出向いて行う「移動動物園」の取組を指導し、この取組は地域に広く認知され、年20回以上の実施に繋がり、幼児期の情操教育にも貢献している。</p> <p>また、同校で取り組み、その後、生産者やJA等へ取組の広がりを見せた「出雲コーテン復活プロジェクト」においては飼育指導の中心的役割を果たすなど、本県の農業教育の推進に大きく貢献している。</p>

氏 名	所属名・職名	表 彰 の 理 由
<small>よじ</small> 藤 <small>い</small> 井 <small>ひろ</small> 裕 <small>こ</small> 子	益田市立吉田小学校 教諭	<p>長年にわたり国語教育、学級活動等の研究実践を積み重ねてきており、特に児童一人一人の声を大切にした授業実践や保護者と連携した学級経営には卓越したものがある。</p> <p>歴任校においては、長く研究主任を務め、校内研究活動の中心となって尽力してきた。</p> <p>現任校においては、平成28年度から3年間、県が進める算数授業改善推進校事業において授業リーダーを担い、「かかわりをとおして考えることを楽しむ授業づくり」をテーマに授業改善を実践し、校内はもとより県内の算数授業の改善に大いに貢献している。</p>

(注) 上記の掲載順は、五十音順による。